

戦争終結と講和条約

講和を講話と書かないように。

イタリア	1943年9月、無条件降伏	ドイツ	1945年5月7日、無条件降伏
日本	1945年8月14日、ポツダム宣言受諾（＝「無条件降伏」） 国民への周知は翌15日 降伏文書への調印は同年9月2日、東京湾の戦艦ミズーリ艦上。これが占領の起点。 天皇制維持をめぐる日米のかけひきの存在からして、日本の降伏は、実質上は無条件とは言えない。		

講和条約

降伏文書の調印と講和条約の締結は別ものである。

- 1) 最も早く1947年、ドイツ、オーストリア、日本を除く敗戦国と連合国は【1: _____】を締結した。それはイタリア、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリア、フィンランドの旧枢軸5か国であり、連合国軍の占領下に置かれた。なお、イタリアでは敗戦直後に反ファシズム連立政権（バドリオ政権）が作られ、戦後、1946年の国民投票で【2: _____】を廃止し共和政に移行した。イタリアは海外領土を放棄した。
- 2) ドイツは連合国と正式の講和条約を締結していない！西ドイツの場合、1955年5月5日に主権の完全な回復を宣言し、北大西洋条約機構（NATO）に加盟したことを以て事実上の講和条約と見なされている。この間に東西ドイツ分断、冷戦の開始、ベルリン封鎖など大事件がいくつもあった。
- 3) オーストリアは1955年に別に講和条約を締結し、中立国として独立した。
- 4) 日本は、1951年、連合国と【3: _____】を締結したが、国内に反対論が強く、参加しない戦勝国もあって、全面講和とはいえない面がある。この間に占領政策の転換、再軍備、朝鮮戦争勃発があり、締結も朝鮮戦争の戦時下だった。翌52年4月28日 ※1、同条約は発効し、日本は独立を回復した。占領下の日本ではGHQの指令を受けて民主化が実行された。例えば ①日本国憲法の制定、②農地改革、③財閥解体。これらは驚くべき実態を持っておりきわめて重要であるが世界史で詳しく出題されることはない。各自しっかり勉強されたい。1951年、【3】の直後に調印された日米安全保障条約も重要である。
※1 この日をわが国の「独立記念日」とするにはどんな問題点があるか考えよう。
- 5) 日本の支配下にあった中国東北部も台湾も中国に返還された。国共内戦の結果、国民政府が台湾を確保した。サハリンの南半分はソ連（現ロシア連邦）に返還。朝鮮は返還すべき相手政府が存在せず、米ソが北緯38度線を堺に分断管理し、2つの国家の原型が形成された。

戦後世界秩序の形成とアメリカ合衆国

アメリカ合衆国は自らの孤立主義と世界恐慌が第2次世界大戦の原因だったと総括し、国際連合とブレトン=ウッズ国際経済体制を軸とする新しい国際秩序の構築を提起した。それは同時に自国の巨大な経済力を満たすに十分な戦争回避能力と自由貿易体制の構築に他ならなかった。
以下アメリカ合衆国を単にアメリカと記す。

国際連合の結成 = 1945年10月

連合国は戦後世界秩序を1941年の大西洋憲章 ※2 で示していたが、その具体化は大戦末期の一連の国際会議で進められた。

- 1) 1944年8～10月 ダンバートン=オクス会議 ※3 米・英・ソ・中の4大国で国際連合憲章の草案を作成した。
1945年4～6月 連合国は【4: _____】 ※4 を開催、50カ国で国際連合の創設を決定（4月）。
連合国51カ国が、ダンバートン=オクス会議で作成された草案にヤルタ会談での決定事項を追加した
【5: _____】に調印（6月）した。国際連合の正式発足は1945年10月。05C

国際連合の創設目的＝「2度までの絶大な戦争の惨害から将来の世代を救う」（前文より）

※2 1941年8月、大西洋上でローズヴェルトとチャーチルが行った会議の結果、発表された8項目の共同宣言。1942年の連合国共同宣言、1945年の国連憲章に継承された。

①領土不拡大。②領土不変更。③民族自決。④貿易の機会均等。⑤労働・生活環境改善。⑥軍備縮小。⑦海洋の自由。⑧国際安全保障の確立。

※3 ダンバートン=オクスとは人名ではなく、ワシントンDC郊外のジョージタウンの一面に広がる「ダンバートン=オクス邸」を指す。かつてアルゼンチン大使だったブリス夫妻が53エーカーもの土地を買い取り、1920年から約20年かけて完成させたすばらしい邸宅と庭園。当時のアメリカ合衆国は国賓級の要人をもてなす国有の豪華施設を持っていなかった。

※4 1951年のサンフランシスコ講和会議とは別のものである。ポーランドが加わり、発足時には51カ国（原加盟国）。

- 2) 国際連合の特徴 枢軸国の暴走を抑えられなかった経験から実効性を重視！→特に後掲④にその特徴が！
 - ①戦争防止のためには、世界の平和と民主主義は不可分である、という立場に立つ。
 - ②経済・文化・教育の発展への援助、基本的人権の擁護、人種・民族差別の否定などを実行する多数の専門機関を擁する。
例 国際労働機関（ILO）、国連教育科学文化機関（ユネスコ）
 - ③【6: _____】……加盟国が平等の発言権と表決権を持つ。
 - ④【7: _____】は総会に優越する権限を持つ。
国際紛争解決のための経済的・軍事的制裁を決定する強力な権限を持つ
また、【8: _____】 ※5 には【9: _____】 ※6 がある。
※5 「常任理事国を全部言え」……戦勝国の中心だった米・ソ・英・仏・中華民国（1971年以降中華人民共和国）
※6 冷戦期には米ソ対立が表面化して、両国がしばしば拒否権を発動し、安保理の機能を麻痺させた。

ブレトン=ウッズ国際経済体制 戦後、アメリカはドルを基軸とする国際通貨体制を作り上げた。

あるいはブレトン=ウッズ体制

1) 第二次世界大戦末期、ノルマンディー上陸作戦は成功したがパリ解放はまだという1944年7月、連合軍44か国の首脳はブレトン=ウッズ※7に集まって戦後の国際通貨体制について合意を形成した。世界の【10: _____】はイギリスのポンドからアメリカ合衆国の国内通貨であるドルにシフトした！世界規模の貿易自由化により世界平和を確実なものにする目的で設立された次の3つの組織がこれを支えている。

①【11: _____】(IMF)、②【12: _____】(IBRD、世界銀行)、③【13: _____】(GATT、関税と貿易に関する一般協定)。①と②は1944年、このブレトン=ウッズ会議で成立、③は1947年調印、1948年成立。

※7 ブレトン・ウッズはアメリカニューハンプシャー州の最高峰であるワシントン山の麓に位置するリゾート。会議はマウント・ワシントン・ホテルで行われた。

2) 1945年 **ブレトン・ウッズ体制の特徴**

①アメリカ合衆国政府が**金とドルの交換を保証**することで成り立っている。いわば「金＝ドル本位制」！
アメリカ合衆国政府は、**純金1oz. = 35\$ (1oz. = about 28g) の固定レート**でいつでもいくらでもドルを金に換えると約束した。oz.: オンス **米ドルを持っていることは金を持っているのと同じことになる。**

②各国通貨のドルとの交換比率(これが為替相場)は固定された。これを**固定相場制**という。

1947年 アメリカ、**マーシャル=プラン**(ヨーロッパ経済復興援助計画)発表

1948年 西欧諸国はマーシャル=プラン受け入れのため、ヨーロッパ経済協力機構(OEEC)を結成した。

→1961年 経済協力開発機構(OECD)に改組された。

1948年 **ガット(GATT)**発足。ガットとは【14: _____ 及び _____ に関する _____】。

目的は自由貿易体制の確立。

i) 自国だけの都合で勝手に関税障壁を設けることを許さないようにする。

それがある程度許されるのは発展途上国のみ。

ii) 実はガットは**正式の国連機関ではない。**

WTOは、なぜか「ワトー」と読む。

1995年に、国連の機関である【15: _____】(WTO)として再発足した。

3) 日本の国際経済への復帰

1952年 日本もIMFなどに加盟、国際経済に復帰 **1\$ = 【16: _____】円**の**固定相場制**が長く続いた。これは、かなりの「円安」であるが、輸出産業にとっては好都合で、日本の「高度経済成長」を可能にした条件の一つとなった。

《参考》「昭和30年代」の観光バスのガイドさんは遠足の小学生に必ずこんなクイズを出した。

『運転手(当時の呼称)さんは、手にいくら持っているでしょう?』

答はもちろん【17: _____】円。ハンドル(半ドル)だから。固定相場制ならではの出題。

4) **ブレトン=ウッズ国際経済体制の崩壊** No.204で詳述。

同時代人はニュース映像のニクソンの苦渋に満ちた表情を忘れない。

1971年8月、**ニクソン政権**は、ついに**金＝ドル交換停止とドルの切り下げ**を宣言した。これを**ドル＝ショック**と言う。アメリカはドルと金の交換を保証しないが、**純金1oz. = 38\$**を公定レートとして固定相場制の維持をはかった。この半端な体制を【18: _____】と呼ぶ。この時、円は**1\$ = 308円(固定)**になった。なぜこんなことになったか?

①二度にわたる大規模な戦争遂行(朝鮮戦争、ベトナム戦争)、②各地の地域紛争への介入、③発展途上国に対する莫大な「援助」。1973年3月 世界各国が【19: _____】に移行し、**スミソニアン体制**は崩壊した。

ドイツの戦後処理

一般に、連合軍は、敗戦国を新国際秩序に参加させるにあたり、連合軍が一定期間占領して、非軍事化や民主化を進める方針を採った。同時に、ドイツと日本では**戦争犯罪の追及**を行った。

1) 1945年8月の米・英・ソ3国の**ポツダム協定**に基づき、ドイツに対しては、フランスを加えた4国による分割占領が行われた。ソ連管理区域内に孤立した旧首都ベルリンは、同様の4国により分割管理された。オーストリアはドイツとは分離されて、同様の4国による分割占領が行われた。

2) ドイツとポーランドの戦後国境は、1945年のポツダム協定によって、戦前の国境をドイツ領を削って約200km西に移動、オーデル川・ナイセ川を結ぶ線(オーデル=ナイセ線)に定められた。西ドイツは1970年までこの国境を認めなかった。

3) ドイツの非軍事化、非ナチ化、民主化、分権化が実行され、1945～46年、【20: _____】が行われ、**ナチ党の戦争犯罪人**を裁いた。

通例の戦争犯罪だけでなく、「**平和に対する罪**」、「**人道に対する罪**」が初めて適用された。

被告22名中、絞首刑12名、終身刑3名、禁固刑4名、無罪3名

戦後の**2大国際軍事裁判**はドイツの**ニュルンベルク国際軍事裁判**(1945年11月～1946年10月)と日本の**極東国際軍事裁判**(1946年5月～1948年11月)である。後者は**No.192参照**。

2014 大学入試センター(抜粋)

問6 次の年表に示したa～dの時期のうち、下線部(5)の裁判(＝**ニュルンベルク国際軍事裁判**)が行われた時期として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。
[問題番号24]

- ① a ② b ③ c ④ d

正解 ③

a	1933年	ヒトラーによる政権掌握
b	1939年	独ソ不可侵条約締結
c	1949年	北大西洋条約機構(NATO)結成
d		